

第4分科会

シニア（ユース・青年）・リーダーについて
～地球と向き合い、役割・活動を考える～

第4分科会は、シニア・リーダーやジュニア・リーダー、子ども会に係る育成者の県内外の皆さんの参加がありました。



<内容>

①「ユース」の紹介と説明。

②グループ討議…子どもが幸福を感じる子ども会活動とは？

各グループで話し合ったことを発表し、出てきたキーワード（「自然との触れあい」「自分で考えることができる」「失敗体験をする」等）を講師の方が白板に学校・地域・家庭・その他（スポ少や習い事）の4つにグループ分けをして、子ども会だからこそできることは、何なのかを考えました。

③総括…子ども会が生き残っていくには、単子が組織としての生き残ることが必要。もっともっと子どもが自分達でしたいと思うことを考え、自分達で企画、運営する子ども会を目指して、シニア、ジュニア・リーダーのような存在が各校区に存在できるように、もっと単子に若い力が介入していき、単元に根付くことが大事であると、まとめの言葉を頂きました。